

いよいよ2017年もあと少し。今年フットマークで起こった出来事を振り返る季節がやってきました！社内では営業最終日に今年の10大ニュース発表というイベントがあるのですが(ニュースは全社から募集し、投票数で順位が決まります)かなり内輪の話題もありますので、ここでは月刊フットマーク発の10大ニュースをお届けしたいと思います。

今年の10大ニュース

同じ墨田区の豊澤さんが助っ人で参加してくれました！

来年はいける！


チームフットマークとして出場。なんと48チーム中8位！来年は目指すは5位以内！



チャリティラン過去最高の8位！

ありがとうございます

長年、金藤理絵選手を支援したことを評価していただきました。



スポーツ功労賞を受賞

自信作です。

RAKUSACK(ラクサック)ついに完成。新商品発売イベントも開催しました。詳しくは2ページをどうぞ。



通学カバン RAKUSACK 新発売

お店のような日よけが良い目印になっていました



すみだ地域巡回展を開催

墨田区政70周年を記念した事業で、弊社は地域の移り変わりや時代とともに歩んできた介護商品の展示をしました。予想以上に多くの地域の方にご来場いただき、大変有意義な展示会でした。

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

上着を着るとまるでシャツを着ているかのように見えるエプロン

ただこれを見るだけで、食事も心から楽しめるようになった



新しい一歩

現在、うきうきシャツエプロンを皮切りに、新しい市場を開拓中です！



アクティブシニアマーケットに挑戦

フレッシュ！

社内に新しい風が吹きました。



新入社員3名入社！

今年はカバン！


中学生と商品企画を行うシリーズ第4弾。今回は通学カバンと一緒につくっています。発売まで乞うご期待！



スーパー中学生企画開始

Jaked 水着参上

今年夏に行われた世界水泳大会にて。選手の皆さんは会社にも遊びにきてくれました。




女子のスカートつき水着も人気


カンボジア代表選手が Jaked 水着で世界水泳に出場

紫外線対策必需品

いまや学校の水泳授業でも紫外線対策は重要な課題となっています。今年は全国的に長袖の水着(シャインガード)が売上を拡大。



シャインガード 絶好調！



三瓶 芳 (さんべ かおる)
フットマーク代表取締役社長
1958年1月27日(昭和33年) 島根県生まれ
1980年 駒沢大学卒業 2012年 社長就任
あと数週間で還暦を迎えます。赤いちゃんちゃんこのカウントダウン開始です。中国では赤は魔除けとされているそうです。さすがにちゃんちゃんこはハードルが高いので、来年は赤いネクタイかパンツにでも挑戦してみようかと思っています。

KAORUの部屋 12

2017年もありがとうございました

2017年も残すところあとわずかになりました。本年も沢山の方々に大変お世話になり、ご縁をいただき本当にありがとうございます。お礼申し上げます。2017年は年頭に金藤理絵選手を長年に渡り支援したことを評価していただき、文部科学省からスポーツ功労賞をいただきました。金藤選手に負けぬよう自分たちの力で新しい取り組みに挑戦し続けた一年でした。11月に開催した通学カバンの新商品発売セミナーはその一つの例です。勇気を持って踏み出した新しい一歩でした。多くのお客様にご来場いただいたこと、感謝いたします。



同じことの繰り返しは楽ですが、やはり新しいことは生まれません。変化と多様性が加速する難しい時代だからこそ、これを機会と捉え感謝の気持ちを忘れず挑み続けることが、私たちの使命と感じております。2018年もまた、みなさまから「おっ！フットマークおもしろいことやってるね」と言われるような取り組みにチャレンジしてまいります。どうぞご期待ください。来年もどうぞよろしく願いいたします。

フットマーク株式会社
代表取締役社長 三瓶 芳

新商品発売記念セミナー NEWS 「通学カバン重い問題は解決できます！」を開催



【特別講演】金藤理絵選手 【第二講座】渡会公治先生 【第三講座】白川純也(フットマーク)

先日、通学カバンRAKUSACK(ラクサック)発売記念セミナー開催いたしました。実はいま、中高生にとって通学時のカバンの重さが深刻な問題になっています。RAKUSACKは中高生の身体への負担を軽減するためにつくった通学カバンです。イベントでは金藤選手からはアスリート視点で、整形外科の渡会公治先生からは専門家としてのお話をいただきました。フットマークにとってこのような形のイベントは初めてのことで、最初は担当部署で始まったプロジェクトでしたが、最終的には全社を巻き込むような一大イベントとなりました。規模が大きい分、運営側のスタッフも多く必要です。すべて内製化し取り組みました。当日は多くの学校関係者様、小売店様らにご来場いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。今後このカバンで生徒さんのお役に立てるよう活動していきます。



重さを感じさせにくい構造が特長
専用サイトもぜひご覧ください。
<https://www.rakusack.jp/>



http://www.footmark.co.jp/waterheroes/

水とうきうきは、赤ちゃんからお年寄りまで水を楽しむ人たちの姿を通じて、水の楽しさを共有するコーナーで、専用WEBサイトにも掲載中。主役は水を楽しむ人たち。年齢も、住むところも、これまでの生きざまも違う人たちが、「水」を語ります。日ごと違う自分だけの空間で、泳げるようになるために、健康のために、挑戦するために。一人で、誰かと一緒に。みんなと。幼い頃の思い出、これからの夢。世界中の皆さんから寄せられるたったひとつの物語を伝えていきます。

積み重ねてきた、努力の結晶



中板 清乃 (Kiyono Nakaita)

東京都墨田区立緑小学校 6年生
第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会 シンクロ競技 10-12才 ソロ優勝
最優秀選手
2017年度ユースエリート選手

シンクロとの出会い

シンクロナイズドスイミングに会ったのは、同じスイミングのお姉さんがシンクロをやっていて、ちょうど体験レッスンがあると知ったことがきっかけだった。

最初は楽しさが勝り遊び感覚で関わっていたけれど、全国を目指すという目標があるということを知った頃から、次第に競うという意味合いが大きくなる。練習メニューがきつくなり、中途半端な気持ちではついていけず、慣れていない練習に戸惑う日々。思うようにいかず、毎日のように泣いた時期もあった。しかし厳しい練習に耐え、ジュニアオリンピックのメンバーに上級生に混じり、下級生でただ一人選ばれることになったことが、喜びと自信につながっていく。

夢の舞台

今年8月に行われたジュニアオリンピックは大きな目標にしてきた大会で、小学生最後の年で迎える今回は、もちろん優勝、最優秀賞が目標だった。しかし毎回行方腹筋を鍛える準備体操でお腹にうまく力が入らず、予選は不安の中演技に臨む。悪い予感的中し、滑り出しは最悪だった。でも自分で原因はつかめていたため、「あとはそこを改善すればいいんだ」と、培ってきた経験から自分を鼓舞した。また、フィギュア競技(※音楽を使わず規定の技術のみを競うもので、午前

中に行われた競技)の成績が一位だったのを知ったことも発奮剤となり、予選の状況とは一転、勝利への手ごたえさを感じていた。自分の順番まで他人の演技は一切見ない。自分のことにだけ集中し続けた。結果は見事ソロ部門で優勝。まさに有言実行で最優秀賞にも選ばれた。すぐには実感が湧かなかったが、多くの人からの祝福を受けて、次第に喜びがふくらんだ。



仲間の存在

いつでも「仲間」であり「ライバル」でもある友達の存在は大きかった。特に同じ学年にだけには負けたくないという強い気持ちが向上心につながっていたのは間違いない。

最上級生になった今年は「リーダー」という役割も任せられた。これまでの経験値からの抜てきだったが、本人いわく「人をまとめるのは苦手」。競技以外の期待や指摘をされることが多くなり、より仲間を支える立場であることも認識させられた。

積み重ねてきた、いま

将来の夢はオリンピックに出場して、表彰台にあがること。だがシンクロ以外にも興味は尽きない。「じっくり考えてみたら将来の夢が5つもあった。」と素顔はふつうの女の子。ただ優勝したことで、夢の一つであるシンクロへの想いは一層強くなった。

来年は中学生になるが「練習への不安と楽しみは半々」と口にする。シンクロ中心の毎日を送ってきた中で、練習の積み重ねが本当に大切なことは、誰よりも分かっている。それは優勝後にもらった先生からの手紙にもあった。「練習は嘘をつきません。コツコツと努力を積み上げてきた賜物です。」

文章を一部割愛しています。全文掲載はこちらから
<http://www.footmark.co.jp/waterheroes/episode/id1325/>

FOOTMARKな人々

先輩方の様子は誠実に対応を心がけます。



櫻井千佳 Chika Sakurai

部門	スポーツリテール部
入社	2017年
出身地	神奈川県
趣味	ホットヨガ
特技	旅行計画
私の健康法	毎日豆乳を飲む、ヨガ

最近始めた一人暮らしで思うことベスト3

通勤が楽!
以前に比べて1時間半の短縮です。駅のホームで電車を待ちながら朝ごはんを食べるという切ない生活も無くなりました。笑 家事に慣れたら平日も趣味に時間を費やしたいと思っています。(飲み会も時間を気にしなくていいので思いっきり楽しめるようになりました!笑)

スーパーが楽しい
近所にスーパーがいくつかあり、安い野菜やお肉を見つけるとつい買ってしまいます。またKALDIが駅中にあるので、大好きなパスタとトマトクリーム缶を買ってストックしています。

料理が楽しい
節約のために自炊しなければと思っていましたが、意外と楽しんで料理をしています。つい買ってしまった食材の消費時に、材料検索できるCOOKPADの便利さを実感しました。COOKPADを頼りに自炊頑張ります!

私のおすすめ商品

No.101380 RAKUSACK

中高生の通学用に作られたカバンです。子どもたちの毎日の負担を最小限に抑えるための機能が満載です。使う方のことを考え尽くしたフットマークらしき溢れる商品です。



もちもちのナンは食べ放題。お得感◎のランチメニュー

ジャイプル

カレー 喫煙 約4分

店内にはダンスミュージック映像がエンドレスで流れる、異国情緒漂うカレー屋さんです。ただカレーの味は日本人好み。もちもちとした甘みのあるナンはお皿からはみ出るビッグサイズ。ランチではなんとお替わり自由です。贅沢したいときはチーズナンもあり。スタンプが10個たまれば、次回1,000円以下のメニューが無料になる太っ腹サービスも見逃せません。



個人的おすすめ★ほうれん草とチーズのカレー



東京都墨田区亀沢1-3-18 レイビル 1F
TEL: 03-6658-8444

<https://tabelog.com/tokyo/A1312/A131201/13159457/>

編集後記

早いもので2017年も終わりです。皆さんはこの一年どんな年だったのでしょうか?個人的な振り返りをすれば、今年は季節外れのインフルエンザに罹り、足を捻挫して生まれて初めて松葉づえを経験し、なかなかの病院通いの一年でしたが、こうして今年最後の編集後記を書いていただけることに感謝します。今年一年、月刊フットマークをご愛読いただきまして誠にありがとうございました。来年も引き続き楽しい話題をお伝えしていければと思っています。皆さま、良いお年を!

フットマーク株式会社

広報担当: 吉河祐子
Tel: 03-3846-3382
webmaster@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください

記事は <http://www.footmark.co.jp/about/monthly/index.html> からご覧いただけます

公式Facebookページ <https://www.facebook.com/footmark210/>